

京都文化交流 コンベンションビューロー通信

10 2024
月号

KYOTO
TRADITION MEETS INNOVATION

CONTENTS



昨年度の時代まつりの写真

P1…「M & C Asia Stella Awards」で
日本の都市から初めて京都市が受賞
P2…国際昆虫学会議と環境学習施設の
連携イベントが開催
P2…京都への国際会議等誘致・開催状況
P3…大阪・関西万博 開幕まであと半年

P3…『もうひとつの京都』の MICE 振興
P3…京都迎賓館記念品販売所からのお知
らせ
P4…第4回「古典の日文化基金賞」授賞式
P4…古典の日フォーラム

MICE

「M & C Asia Stella Awards」で日本の都市から初めて京都市が受賞

この度、アジア最大級の MICE メディア「M & C ASIA」が主催する表彰プログラム「M & C Asia Stella Awards 2024」において、京都市が「Best Incentive City (Asia)」として選出され、受賞しました（授賞式は、9月4日にマカオで開催され、京都市及び当ビューローが出席しました）。

同賞は、アジアにおける MICE 業界の発展に寄与することを目的に 2019 年度に創設され、年に 1 度、読者投票を経て選出され、MICE 業界の専門家によって承認された都市・施設などを表彰するもので、都市単位での受賞は日本で初めてとなります。

京都市が評価されたポイントとして、「世界遺産をはじめとした文化財を活用したユニークベニューの取組、世界的ブランド企業の会議や報奨・研修旅行等の開催実績、コンベンションビューローのスタッフのスキルの高さ等、読者層の中心である業界関係者・メディア等から高い評価を得たこと」が挙げられています。なお、日本からは、「Best Meeting Hotel (Japan) 部門」で、ザ・プリンス京都宝ヶ池が選出されました。

今回の受賞により、世界的に MI^(※) 開催地としての認知を引き上げる契機となり、京都への MI 誘致が一層促進されることが期待されます。当ビューローにおいては、引き続き、文化財や伝統文化をはじめとした京都の魅力を活かしながら、地元へ貢献する MICE の誘致・開催支援に努めて参ります。

※ MI とは、企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel) のこと。MI に加え、国際機関・団体、学会などが行う会議 (Convention)、展示会・見本市・イベント (Exhibition/Event) を含め、MICE という。



1 賞の概要

「M & C Asia Stella Awards」は、アジアにおける MICE 業界の発展に寄与することを目的とし、毎年 MICE 業界で、優れた取組を行った国や地域、組織等を表彰するもの。本年は6つのカテゴリで合計 29 の賞が授与され、京都は「Best Incentives City (Asia)」において、M & C ASIA の読者（ミーティングプランナー等）によって投票され、MICE 業界の専門家によって承認された。なお、**全カテゴリにおいて日本の都市が選出されるのは初めて。**

2 日本の受賞歴

2021 年：日本 (JNTO) / Most Resilient MICE Destination 部門

※ 民間部門では、「Best Meetings Hotel (Japan) 部門」として、グランドプリンスホテル新高輪 (2019 年)、ヒルトン東京 (2020 年、2023 年)、シェラトングランド東京ベイ (2021 年)、ホテルオークラ東京 (2022 年) が受賞している。

(参考)

① M & C ASIA について

ノーススターミーティンググループに属するアジア最大級の MICE メディア。2017 年から年 1 回シンガポールで MICE 専門の商談会「M&C ASIA CONNECTIONS」を開催している。2024 年 3 月には、当ビューローと M & C ASIA との共催で「Kyoto MICE TRADESHOW in corporation with M&C ASIA 2024」を開催した。

② ノーススターミーティンググループについて

世界の MICE 業界に多数の読者層を持つ、旅行・MICE メディア等が属する米国のグループ。MICE 市場において、世界を代表するマーケティング企業であり、長年の経験と実績による豊富なノウハウを基に、欧米・アジアを中心に、企業が主催する国際会議の運営や、バイヤーを対象としたインセンティブツアーなどのイベントを開催し、約 35 万社のバイヤーとのネットワークを保有する。

令和6年8月25日～30日に国立京都国際会館において開催された「第27回国際昆虫学会議」に先立ち、環境学習に取り組む伏見区内の3施設（青少年科学センター・京エコロジーセンター・さすてな京都）が連携し、環境の保全・生物多様性に関する市民対象のイベントが実施されました。当該イベントの開催に当たり、当財団が学会事務局と連携して、3施設と調整を行いながら、開催を支援しました。

各イベントは事前申し込み制で、定員を超える申し込みがあり、抽選で選ばれた小学生等の学生ならびに保護者が当日集まり、昆虫に関する学習を行いました。

本イベントは、国際昆虫学会議の誘致に際し、当財団が支援をしたつながりから学会の理解を得たうえで、市内関係施設のご尽力のもと、普段学会に触れ合う機会のない小学生等に対し、国際会議に触れあいながら学習機会を創出する、新たな事例となりました。

当財団では、引き続き、国際的なMICE誘致を行うとともに、主催者とのネットワークを活かし、市内関係施設との協力のもと、市民・学生への還元機会の創出を進めてまいります。



「昆虫を観察して、標本をつくろう！」
(8月21日(水) @京エコロジーセンター・京都市青少年科学センター)



「アリジゴクの生態を学ぼう」
(8月22日(木) @京エコロジーセンター・京都市青少年科学センター)

京都では、これまでの取組が実を結び、コロナ前の2019年には過去最高の国際会議開催件数（383件）を記録したものの、コロナ禍で2021年には過去最低の開催件数まで落ち込みました。その後、順調に回復し、2023年は前年比で102件増となる172件となりました。

当ビューローでは、これまでから継続して国際会議の誘致を続けており、今年度も8月現在において、以下の会議の誘致に成功しておりますので、お知らせいたします。

< 誘致に成功した主な国際会議 >

※ 誘致に成功した会議のうち、公開可能なもの

学会名称	開催期間	総参加者数(名)
有機合成指向有機金属国際会議 (OMCOS)	2025年9月1日～5日	1,000
国際通関業連合会会議 (IFCBA World Conference)	2025年3月25日～28日	100
国際ワクチン会議 (Vaccine Congress VACC)	2025年9月7日～10日	300
国際内分泌学会 (International Congress of Endocrinology)	2026年6月2日～5日	7,000
国際触媒会議 (ICC)	2028年6月25日～30日	2,500
世界炎症会議 (WCI2028)	2028年4月3日～7日	800

今後も、これまで培った誘致力を基に、京都府・京都市や会議施設、MICE 関連事業者と連携して、引き続き誘致を進めてまいります。

また、7月号でご紹介した「2023年の京都で国際会議の開催状況」についても、統計等を取りまとめた冊子をご用意しておりますので、ご要望がございましたら、お気軽に当ビューローまでお尋ねください。



過去の国際会議の開催実績
(当ビューローHP)

2023年の国際会議の開催状況をまとめた冊子

当ビューローが共同代表を務める「大阪・関西万博きょうと推進委員会」では、大阪・関西万博に向けたオール京都の取組を国内外へ広く発信し、国内外から京都への誘客や府域における機運醸成を図る取り組みを進めています。

開幕まであと半年を迎え、同委員会では10月12日（土）に機運醸成イベント「京都イロドリ EXPO こといろ」を開催します。京都駅前広場等を会場に、ステージイベントのほか、同委員会の認証事業*の企業・団体等による文化体験や飲食や物品の販売等を行いますので、ぜひお立ち寄りください。

※ 同委員会では、企業や団体の皆さんの万博に向けた取り組みを応援する認証制度を設けています。認証されると認証ロゴマークを用いたPRが可能となります。随時申請を受け付けています。



「こといろ」の中には、古都・彩り・子ども・十色などのワードが隠れていて、万博の機運醸成とともに未来の京都に思いを寄せてほしいという願いが込められています。



<https://expokyoto.jp/>

当ビューローでは、京都府・京都市からの補助金を財源として、京都への MICE 誘致・開催支援を目的とする各種助成金制度を設けています。

京都府域では、『もうひとつの京都』と呼ばれる府域で開催される MICE に対する「京都府 MICE 開催支援助成金」を用意しており、京都市内を含む関西圏域で行われた会議の分科会やエクスカーション等を行う際にもご利用が可能です。

伊根の舟屋見学や茶摘み体験、かやぶきの里民泊体験など、『もうひとつの京都』でしかできない体験は、エクスカーションやインセンティブツアーに最適です。今年度は、海外の保険会社による府の北部と南部を広域に巡るインセンティブツアーなども行われています。おすすめの訪問先や体験を掲載している『もうひとつの京都』エクスカーションチラシにより

ご案内し、各エリアの DMO やけいはんなコンベンション誘致推進協議会等と連携して支援しておりますので、お気軽にご相談ください。

※ 助成金の詳細は交付要綱をご確認ください。
また、今年度の予算上限に達し次第終了となります。



<https://meetkyoto.jp/ja/prefmice/>

京都迎賓館は、海外からの賓客をもてなすため平成17年（2005年）に京都御苑内に開館した国の迎賓施設です。庭園や建物、調度品には数多くの伝統的技術が活用されており、ガイドツアー方式で一般公開も行われ、日本が誇る最高峰の美にふれることができます。

当ビューローでは、同館の参観記念のお土産として「オリジナル記念品」の企画・販売を行っており、今秋から、新たにお香の商品が加わりました。同商品は、賓客をお迎えする際に正面玄関で焚かれるお香をはじめ、迎賓館の各部屋や庭園のイメージを香りにしたオリジナルお香セットです。また、10月からは、参観記念符の秋季限定版も新たに登場します。

販売所は、迎賓館参観以外の方もご利用いただけますので、ぜひお立ち寄りください。また、当ビューローの賛助会員の皆様には「オリジナル記念品」の優待制度を設けておりますので、詳しくは下記ホームページをご覧ください。



迎賓館オリジナルお香セット
(5種 2,700円、3種 1,500円)



記念品販売所（清和院休憩所内）
営業時間：午前9時30分～午後4時30分
定休日：毎週水曜日（京都迎賓館の閉館日に準じる）



<https://hellokcb.or.jp/bunka/product.php>

9月3日、名誉総裁の彬子女王殿下をお迎えして、第4回の授賞式が開催されました。

「文学・思想」分野は、難解な古今東西の名著にスポットを当て、わかりやすく解説するNHKの番組「100分de名著」の制作スタッフに。「伝統芸能・音楽」分野は、400年にわたって地域で守り伝えてきた石川県の御陣乗太鼓保存会に。年明けの能登半島地震で被災しながらも、いち早く活動を再開し復興を支える旗印となっています。「美術・生活文化」分野は、分業で作られてきた漆器を一つの職分に留まらず漆芸家集団として活動し、新しい漆の世界を切り開いてきた石川県の輪島塗制作集団 彦十蒔絵に。

若者たちの古典文化活動を応援する「未来賞」は、地域に伝わる神楽や踊りなどの伝統芸能を学び継承する活動を行っている熊本県の湯前町立湯前中学校、大蔵流狂言を学び英訳を付けて公演するなど日本の伝統文化の理解と継承に取り組んでいる東京都のThe American School in Japan 狂言クラブ、3歳の時に初舞台を踏み数少ない女性能楽師として修業を続け能の魅力を広める活動をしている京都府の味方

梓さんに、それぞれ贈られました。

また、藤原定家を家祖とし800年にわたり和歌文化を伝え実践してこられた公益財団法人冷泉家時雨亭文庫に会長特別表彰が贈られました。

会場は満席となり、昨年の受賞者の桂吉坊さんの落語、クリス・モズデルさんの英詩朗読、俳優の檀ふみさんの朗読をお楽しみいただきました。



第4回古典の日文化基金賞 受賞者の皆様

大河ドラマ「光る君へ」で紫式部への注目が集まる今年、『宇治十帖』の舞台になった宇治市の文化センターを会場に、古典の日フォーラムを11月1日の「古典の日」に開催します。

今年度は、「紫式部の世界」と題して、高木和子さん（東京大学大学院教授）、臈谷壽さん（同志社女子大学名誉教授）、家塚智子さん（宇治市源氏物語ミュージアム館長）をお迎えし、「紫式部」や「源氏物語」の魅力に迫ります。司会は元NHKアナウンサーの三宅民夫さんです。

また、国民文化祭との連携で、今年度の開催地である岐阜県の岩村町獅子舞保存会の皆さんに、岐阜県の重要無形民俗文化財に指定されている郷土芸能で、雌獅子頭をかぶった男性が女装して舞う優雅な獅子舞をご披露頂きます。

11月15日（土）には、第16回古典の日朗読コンテストの公開審査会を金剛能楽堂で開催します。



高木和子さん



臈谷壽さん



家塚智子さん

新規賛助会員のご紹介（受付順）2024年10月1日現在

ヒルトン京都

所在地：京都市中京区下丸屋町416

TEL：075-212-8007

HP：<https://www.hilton.com/ja/hotels/itmhihi-hilton-kyoto/>



嵐山 祐齋亭

所在地：京都市右京区嵯峨亀ノ尾町6

TEL：075-881-2331

HP：<https://yusai.kyoto/>

